

平成27年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 国際言語文化学科 ヨーロッパ文化専攻

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章はヨーロッパ各国の歴史家により編纂された『ヨーロッパの歴史・欧州共通教科書』の序章からの抜粋です。この文章を読んであとの問いに答えなさい。

非公開

(フレデリック・ドルーシュ総合編集, 木村尚三郎監修, 花上克己訳, 『ヨーロッパの歴史・欧州共通教科書』第2版, 東京書籍, 1998年, 9ページ, 抜粋, 一部改変)

問1 以下の各問に答えなさい。以下の点に全て答えるように小論文を完成させなさい
(400字以内)。

- 1) 課題文の著者によると、ヨーロッパ文明はヨーロッパ内のどの地域で開花したでしょうか？
- 2) あなたは、なぜその地域に焦点が当てられていると思いますか。
- 3) また、課題文において取り上げられていない、ヨーロッパ文明の発展に貢献したその他のヨーロッパ内の文明を一つ挙げ、それを挙げた理由を説明しなさい。

問2 以下の各問に答えなさい。以下の点に全て答えるように小論文を完成させなさい
(1200字以内)。

- 1) 課題文はもともとヨーロッパの国々(フランス、デンマーク、ポーランド、ドイツ、チェコ、イタリア、ベルギー、ギリシア、アイルランド、スペイン、ポルトガル、オランダ、イギリス)の学者などによって教材として書かれた書物の一節です。この本はどのような目的をもって書かれたと思いますか？
- 2) また、課題文にはヨーロッパの「境界も次第に変化した」と書かれています。これについては地理、歴史、宗教、文化、言語、政治など、様々な観点からの答えが考えられますが、あなたは現代ヨーロッパの境界をどこに設定できると思いますか。
- 3) 最後に、アジアで同じような教材を作るとすれば、何を考慮に入れるとよいと思いますか？その理由も述べなさい。

平成27年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 国際言語文化学科 ヨーロッパ文化専攻

出題の意図

本小論文の出題の意図は、以下の通りです。ヨーロッパの国で出版されたヨーロッパ史に対する教材の抜粋を読ませ、まず、そこから作者のものの見方がどのようなものであるか、本文から読み取らせませ。読解力をみることとなります。さらに、この抜粋において著者が言及していない現代ヨーロッパの発展に貢献したその他のヨーロッパ文明について考えさせることにもなります。

次に、受験生の「ヨーロッパ」という概念に対する考えを尋ねます。いかに自身の見識あるいは考えを発展させようとしているか、それについて説得力ある論を展開できるのかを問われます。

ヨーロッパ大陸を統一しようとするEU各国における歴史観の共通点に焦点を当てるこの教材はヨーロッパ各国の間で平和な国際社会の形成とグローバル市民の育成に導く異文化理解と相互理解を促すことを一つの目的にしています。言語文化教育を通じて同じような目的を目指す琉球大学のヨーロッパ文化専攻を志望する受験生にもその多言語文化主義の精神を認識してほしいからです。最後に大部分の受験生の文化である日本文化の観点からアジアにおいても同じような平和な国際社会とグローバル市民を開発するにはどうすればいいかということについても考えてほしいからです。

本専攻のアドミッション・ポリシーにある、ヨーロッパ文化への関心と、情報を整理・分析し、独自の論を展開する能力を測るための出題です。